

『PCA 固定資産シリーズ』

Ver.1.0 Rev.6.25プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

SCY231225

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

《全体》

- ◇ 令和6年度税制改正対応
少額減価償却資産の特例の適用期間の延長に対応しました（令和8年3月31日まで延長）
- ◇ コード複写の選択機能
複写時にコードを複写するかどうか設定する機能を用意しました。
これまではコードが必ず複写されていたため、用途によっては不要な場合でもコードを削除する手間がありました。
たとえば自動付番を使用している資産の登録処理で、複写後にコードを削除する必要がなくなります。

《ファイル》

- ◇ データの保守
「取得・リース開始情報の一括変更」機能を用意しました。
複数資産の部門や場所を一括で変更できるようになりました。
取得やリース開始時にとりあえず登録しておいた部門や場所を変更したい、といった用途にご利用いただけます。

《前準備》

- ◇ 取引先の登録
法人情報の検索結果を取引先に反映する流れを見直しました。
 - 検索結果や適格請求書発行事業者情報が表示されるようになりました。
 - 反映時に、取引先名を半角・全角に変換できるようになりました。
 - 反映時に、法人格を変換できるようになりました。
省略する、略語を使用する「(株)」、そのまま使用する「株式会社」

《台帳・一覧》

- ◇ 固定資産台帳（一）
増減取得価額を確認できるようになりました。
指定した集計期間における、資産の取得価額の推移が確認できます。
パターン設定「その他」カテゴリに「期首取得価額」「増加取得価額」「減少取得価額」「期末取得価額」が用意されましたので、パターンに配置してご利用ください。
- ◇ 固定資産台帳（一）、リース資産一覧
ハイパーリンク型のユーザー定義項目について、Excel出力結果からリンクが開けるようになりました。
- ◇ 基本財産及びその他の固定資産の明細書 [社]
社会福祉法人会計の運用指針に従った内容を出力できるようになりました。

《随時》

- ◇ 汎用データの作成、汎用データの受入
仮登録資産を汎用データ受入できるようになりました。
 - コード自動付番を利用した一般資産は、資産名だけで仮登録資産として受入できるようになりました。
 - 「汎用データの作成」のパターン設定では、仮登録を考慮したパターンを作りやすくしました。汎用データの受入時に使用するパターンは、本登録と仮登録で共用となります。
ただし、仮登録資産については汎用データの作成には未対応です。

《データ領域の更新について》

データ領域のバージョンを「6.55」に更新しました。

下記のデータ構造を拡張しました。

- ・資産更新履歴

《APIの変更について》

以下のデータ構造を拡張したため、バージョンを更新しました。

- ・資産自動付番設定（バージョン「2」）
- ・資産（バージョン「111」）

《汎用データの変更について》

バージョンを更新しました。

- ・一般資産（バージョン「13」）
- ・一括償却資産（バージョン「9」）
- ・リース資産（バージョン「15」）
- ・少額資産（バージョン「10」）